

報告日 令和 6年 10月 15日 (火)	報告者 吉武惇二
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ：酒井伴四郎の江戸勤務日記
開催日時 令和 6年 10月 10日 (木) 午前 10:00 ~ 12:00	開催場所 金沢公会堂第2会議室
参加人数 男性 10名 女性 4名 合計 14名 (欠席者 0名)	
<p>今月の学習会は、伴四郎の日記の8月20日から24日の前半までを精読した。</p> <p>学習会の冒頭にあたり、真田講師より5種類の資料が配布された。①は「江戸に象がやってきた」(出典：幕末維新の古文書 岩下哲典監修 柏書房)であり、先月の日記に出てきた象の見物について補完する資料である。②は伴四郎日記の8月24日、25日、26日の日記の追記資料である。結果としてこの精読は来月行うこととなった。③は「江戸時代の貨幣制度(抜粋)」というもので、江戸時代の貨幣制度について説明したものである。24日の日記に叔父様と伴四郎が銭勘定についてのいざこざが出てくるが、当時の貨幣に関する参考資料として配布された。④は伴四郎日記の9月以降の原文、⑤は原文の積文である。④の原文は約30頁に及ぶ分量であるが、真田講師の予定では、来年3月までにこれらの精読を終了するとしている。</p>	
<p>次回予定 令和6年11月14日(木) 10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第2会議室 テーマ：酒井伴四郎の江戸勤務日記</p>	